

**業界初！“けんしん”の受診促進に向けて、全国で約200回の健康チェックイベントを開催
新たな健康増進アクションの展開とヘルスケアベンチャーとの提携について**
～「みんなの健活プロジェクト」でお客様・地域社会・従業員の健康増進を継続的に支援～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、「お客様」「地域社会」「働く仲間（自社従業員）」の健康増進の取組みを継続的に支援する「みんなの健活プロジェクト」(※1)において、2019年4月に、毎年の健康診断等の結果に応じた健康増進インセンティブを提供する新商品を発売予定です。

当社は、この新商品を通じて「定期的なけんしん（健診・検診）」の受診促進に取り組んでまいりますが、これに先立って2018年度下期から、地域社会のみなさまを対象としたアクションとして、全国の支社等で自己採血による簡易な血液検査等を行ない、同時に医療機関等での健診受診を勧奨する「セルフ健康チェック for みんなの健活」を先行展開します。

セルフ健康チェックは、厚生労働省が定める「検体測定室(※2) 第一号届出事業者で、45万人超の利用者実績を有するケアプロ株式会社（代表取締役社長 川添 高志）の協力のもと、全国で年間約200回開催する予定です。保険会社が全国規模で検体測定室による血液検査等の“直接的な機会”を提供する取組みは「業界初」となります（当社調べ）。

あわせて、当社とケアプロ株式会社は、セルフ健康チェックの展開、新たなヘルスケアサービスの検討等に共同で取り組むことについて、本日付で基本合意を締結しました。今後は、両社の知見等を活用し、お客様の健康増進を継続的に支援するサービスの拡充等に取り組んでいきます。

【具体的内容は次ページ以下ご参照】

1. 「セルフ健康チェック for みんなの健活」のねらい・スキーム等

～【業界初】“けんしん”の受診促進に向けて、
全国で約200回の健康チェックイベントを開催～

2. 検体測定室届出第一号「ケアプロ株式会社」との提携に係る基本合意の締結



(※1) プロジェクトの概要については、以下リリース参照

- ・2018年3月6日リリース「新たな健康増進プロジェクトの始動について」
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2017/pdf/20180306_02.pdf
- ・2018年9月25日リリース「『みんなの健活プロジェクト』の具体的取組みについて」
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2018/pdf/20180925_01.pdf

(※2) 検体測定室とは、利用者が自己採血した血液について、事業者が簡易な検査を行なう場所（施設）。
詳細は、次ページの（注2）を参照

1. 「セルフ健康チェック for みんなの健活」のねらい・スキーム等

(1) 背景・ねらい

- ・健康を維持し、疾病を予防・早期発見するためには、定期的な健康診断の受診が重要であり、「日本再興戦略」改訂2014においても、「2020年までに健診受診率を80%（特定健診を含む）」（2010年67.7%）（注1）にするとの数値目標が掲げられています。
- ・こうした背景のもと、自治体、民間企業ともに地域住民や従業員に対して積極的に受診勧奨を行なっていますが、当社としても、「みんなの健活プロジェクト」における取組みの一環として、営業職員等による受診勧奨活動を推進してまいります。
- ・さらに当社は、健診受診の“声かけ”にとどまらず、定期的に健康診断を受けていない方等が、簡易な血液検査等でご自身の健康状態を把握し、同時に、医療機関等での健診受診の重要性等についてご理解いただく“直接的な機会”を設けることで、広く地域社会の受診率の向上に貢献していきたいと考えています。

（注1）出所：「日本再興戦略」改訂2014（平成26年6月24日閣議決定）

(2) スキーム（詳細は別紙1参照）

- ・「セルフ健康チェック for みんなの健活」では、利用者が自己採血による簡易な血液検査等を行ないませんが、こうした「検体測定室（注2）」に係る業務は、厚生労働省のガイドラインに従い、ケアプロ株式会社が提供します。
- ・当社は、ケアプロ株式会社と提携し、全国の支社等の会議室等を簡易な検査等を行なう「場所（機会）」として提供するとともに、営業職員等を通じて地域のみなさまに「セルフ健康チェック for みんなの健活」をご案内します。
- ・あわせて、当社の営業職員等およびケアプロ株式会社は、参加者に対して医療機関等における健康診断の受診勧奨も行ないます。
- ・また、「検体測定室」はその場で30分程度で検査結果を受けとれる等、利便性の高い点が特徴ですが、幅広いお客さまに興味を持っていただけるよう、「セルフ健康チェック for みんなの健活」では、骨チェック・血管年齢測定といった採血を伴わない検査や健康関連の情報提供を行なう健康増進セミナー等の同時開催も検討しています。
- ・2019年1月以降、一部地域で先行展開し、2019年4月から全国の支社等で合計約200回（年間）開催する予定です。

（注2）「検体測定室」とは

- ・利用者が自ら採取した検体について、事業者が血糖値や中性脂肪等の検体検査を行なうサービスで、診療の用に供しない簡易な検査を行なう施設
- ・利用者が自身の検査結果を早期かつ簡便に把握するとともに、事業者が利用者に対して健康診断等の受診勧奨を行なうことで、医療機関への受診を促進し、疾病の予防や早期発見に寄与することが期待される
- ・厚生労働省への届出や利用者への受診勧奨などを示した、「検体測定室に関するガイドライン（平成26年4月9日付医政発0409第4号）」に基づき運営
- ・厚生労働省HP：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000098580.html> 参照

2. 検体測定室届出第一号「ケアプロ株式会社」との提携について

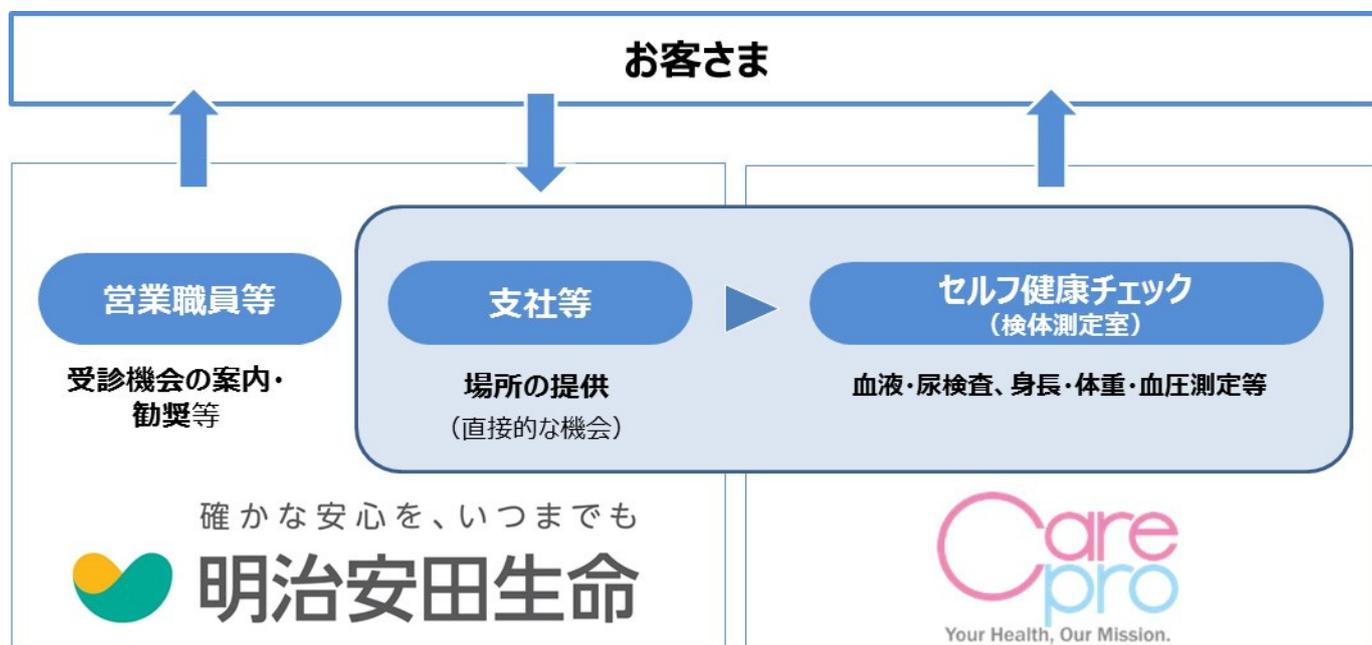
(ケアプロ株式会社の概要は別紙2参照)

- ・当社とケアプロ株式会社は、①当社の全国の支社等における「セルフ健康チェック for みんなの健活」開催に係る詳細の検討・開発、②ケアプロ株式会社の健康チェックに係る知見・インフラと当社の保険・健康分野での知見を活用した新たなヘルスケアサービスの検討に共同で取り組むことについて、本日付で基本合意を締結しました。
- ・ケアプロ株式会社は、2007年に現社長である川添高志氏が創業したヘルスケアサービス分野のベンチャー企業で、2008年11月にわが国初のワンコイン健診ショップ（現セルフ健康チェック）を開設して以来、セルフ健康チェックの普及を図るとともに、2014年4月、「検体測定室」の第一号の届け出を行なった、いわば業界のパイオニア的な存在です。また、利用者実績は46万人以上（2018年8月現在）、さまざまな企業や自治体での開催実績を有しています。
- ・今後は、両社の知見等を活用し、受診率の向上等を通じた国民の健康寿命の延伸等への貢献、お客さまの健康増進を継続的に支援するサービスの拡充等に取り組んでいきます。

以 上

「セルフ健康チェック for みんなの健活」のスキーム概要

1. 「セルフ健康チェック for みんなの健活」スキーム図



2. ケアプロ株式会社による「セルフ健康チェック」の流れ

- ・「セルフ健康チェック」は、ケアプロ株式会社がサービスを提供します。
- ・血液検査は、厚生労働省が定める「検体測定室に関するガイドライン」に則って行ない、看護師または臨床検査技師が担当します（医療行為ではありません）。

(主な流れ)

1. 事前説明：留意事項等をご説明のうえ、お客さまの同意を取得
2. 血圧・身長・体重測定、血液検査等を実施
3. その場で測定結果を出し、結果票をお渡しします
4. ケアプロ株式会社のスタッフから生活改善に役立つ情報の提供等を行ないます



～血液検査の方法～

- ① 指先に使い捨て針をあて、ボタンを押して採血（お客さまご自身）
- ② 試薬に血液を付け、検査機器に挿入（看護師等の有資格者）
- ③ 約 10 分で結果が判明



以上

ケアプロ株式会社について

社名	ケアプロ株式会社
代表者	代表取締役社長 川添 高志
本社所在地	東京都中野区中央3-13-10 JOYHAYASHI 3階
資本金	資本金9,631万円(資本準備金8,431万円)
株主	特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京、株式会社地域経済活性化支援機構 他
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. セルフ健康チェック事業(セルフ健康チェックの直営店・出張イベント) 2. 訪問看護事業(訪問看護ステーションの運営) 3. 健康データ管理事業(統計データ提供、ケアプロモニター定性・定量調査)
沿革	<p>2007年12月 会社設立</p> <p>2008年11月 常設1号店(中野)オープン</p> <p>2014年4月 「検体測定室」の第一号に届け出</p> <p>2016年5月 経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定</p> <p>2016年7月 経済産業省補助事業「世界をつかめ!プロジェクト2016」に採択</p>
公式HP	http://carepro.co.jp/
照会先	ケアプロ株式会社 予防医療事業部 03-5389-1220

以上